

## おわりに

### 1 共同研究を終えて

平成 12 年 5 月 31 日から始まった板橋区と大東文化大学との共同研究も、ようやく最終報告がまとまり、一つの区切りを迎えることができました。長い二年間であったようでもあり、また短い二年間であったようでもあります。とにもかくにも私たち地域社会Ⅱ研究分科会は、とても楽しい分科会でもありました。東田先生のリーダーシップの下、メンバーの協力関係がとてもスムーズであったことが順調に進んだ要因と思われます。

私たち行政に携わる人間にとって、大学の先生方と対等の立場で研究をする、などということは誠に恐れ多いことでありまして、足手まといにならなければいいがと心配しながらの出発となりましたが、先生方のご配慮によりまして、楽しく参加することができましたし、それなりの成果も上げることができました。心から厚く御礼申し上げます。

地域社会Ⅱ研究分科会がテーマとしてとりあげました「21 世紀の福祉のまちづくり」は、これからの高齢社会を生きる私たちにとりまして、誠に重大な問題であります。板橋区の現状を踏まえながらの研究の成果、提言につきましては是非とも、板橋区の行政に反映させたいと思っております。

ひとまず私たちの共同研究も、これで一区切りが付きましたが、もとよりこれですべての課題が解決されるものでもありません。後続く方々に、さらに研究を深めていただければと願っております。

(安井賢光)

### 2 研究経過

(平成 12 年度)

- 5 月 31 日 第 1 回全体会 (初顔合わせ)
- 6 月 28 日 第 2 回全体会 (板橋区の地域社会、産業)
- 7 月 26 日 第 3 回全体会 (板橋区の福祉)
- 9 月 20 日 第 4 回全体会 (地域社会と外国人)
- 第 1 回分科会 (今後の活動について意見交換)

- 10月25日 第2回分科会(要援護高齢者への施策……在宅サービス、入所サービス、その他……とこれに対する区民の評価とニーズの把握方法について検討)
- 11月22日 第3回分科会(健常高齢者への施策……遊ぶ、学ぶ、働くの3分野……とこれに対する区民の評価とニーズの把握方法について検討)
- 12月16日 第4回分科会(区民へのアンケート調査の項目について検討)
- 12月25日 第5回全体会(武蔵野市の高齢者福祉)
- 1月16日 3分科会代表者会議
- 1月24日 第5回分科会(年度末へ向けた当面の予定について検討)
- 1月29日 第6回分科会(板橋区内福祉施設を視察……おとしより保健福祉センター、老人保健施設ロイヤルケアセンター、特別養護老人ホームいずみの苑、余裕教室転用施設はすのみ教室)
- 2月17日 3分科会合同合宿研修 湘南セミナーハウス(平塚市)
- 18日 (板橋区の高齢者福祉行政の現状等についての講演と質疑、中間報告の研究員別担当項目の検討など)
- 3月10日 地域デザインフォーラム「講演とシンポジウム」
- 3月24日 第7回分科会 公開ゼミナール「高齢者が老後をどう生きるか」
- (平成13年度)
- 4月25日 第6回全体会(分科会での今後の研究の進め方について検討)
- 5月30日 第8回分科会(アンケート調査結果の分析)
- 6月27日 第9回分科会(中間報告の説明と今後の方向検討：第1章～第3章)
- 7月18日 第7回全体会
- 7月24日 第10回分科会(中間報告の説明と今後の方向検討：第4章～第7章：及び合宿準備)
- 9月22日 第11回分科会(湘南国際村センターにて合宿研修：本報告の骨格を概定するための検討、各担当項目ごとの問題意識や改善方向についての研究員相互の意見交換)
- 23日
- 10月17日 第8回全体会
- 11月7日 第12回分科会(本報告担当案検討：1)
- 11月21日 第13回分科会(本報告担当案検討：2)
- 12月7日 地域デザインフォーラム「講演とシンポジウム」

1月 9日 第14回分科会（最終報告の構成・目次等検討）

### 3 研究員

地域社会Ⅱ研究分科会のメンバーは次のとおりである。

（大東文化大学）

渡部 茂 経済学部教授

中村 昭雄 法学部教授

東田 親司 法学部教授

（板橋区）

安井 賢光 健康生きがい部長

小池 喜美子 企画調整課主査

杉谷 明 建築指導課係長

富澤 賢一 監査委員事務局主査